

平成24年第14回教育委員会定例会(秘密会)

開会年月日 平成24年7月23日(月)
場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 委員長 外 松 和 子
同 委 員 内 藤 幸 子
同 委 員 天 沼 英 雄
同 委 員 安 藤 睦 美
同 教育長 河 口 浩

議 題

3 答申

- (1) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

開 会 午前 10時00分
閉 会 午前 11時15分

会議に出席した者の職・氏名

教育振興部長	阿 形 繁 穂
こども家庭部長	郡 榮 作
教育振興部教育総務課長	岩 田 高 幸
同 教育指導課長	吉 村 潔
こども家庭部参事子育て支援課長事務取扱	
練馬子ども家庭支援センター所長事務取扱	木 村 勝 巳

- (1) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

委員長

それでは、答申の(1)小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申についてである。特別支援学級で使用する教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書無償措置に関する法律施行令第14条によって、毎年度採択がえができることとなっている。このため、本年4月に特別支援学級教科用図書の採択にかかる調査委員会を設置し、調査・検討をお願いした。

そこで、調査委員会からの答申内容について、本日説明を受けたいと思う。小学校、中学校それぞれの調査委員会会長に入室をお願いする。

それでは初めに、石井小学校特別支援学級調査委員会会長から、答申内容の説明をお願いします。

小学校特別支援学級調査委員会会長

大泉小学校の校長の石井である。どうぞよろしくをお願いします。

それでは早速、答申の説明に入らせていただきたいと思う。議案第39号に関する小学校特別支援学級教科用図書の調査研究について、説明をさせていただきます。

4月23日に教育委員会から諮問を受けた平成25年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、小学校特別支援学級調査委員会は慎重に審議を行い、7月23日に教育委員会宛て答申を提出した。以下、この答申について説明をさせていただきます。

資料2をごらんいただきたい。小学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級設置各校に設けられた研究会に対し、学校教育法附則第9条にかかわる図書の研究を依頼した。また、4月から3回会議を開催し、各校研究会からの報告を参考に、慎重に研究検討を重ねてきた。

では、2ページをごらんいただきたい。記書きの1である。調査研究を行った図書数であるが、各学校の意向を尊重し、117冊の図書を調査研究した。継続採択候補図書が116冊、新規採択候補図書は1冊である。種目ごとの冊数及び図書名等の詳細については、6ページ以降に掲載しているので、お目通しいただければと思う。

次に、記書きの2、調査研究における意見等である。図書の調査研究に当たっては、各研究校の意見を尊重するとともに、児童にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて、新規採択候補図書について説明する。『絵本図鑑シリーズ 鳥の観察図鑑』、理科、岩崎書店、調査研究の内容である。この本は、大型の本で、まず、鳥に興味がある子が、自分の興味のある鳥をととも探しやすい構成になっている。そして、鳥の種類による木のとり方、例えば、コゲラのとまり方、それ以外の鳥のとまり方がそれぞれとてもよく表現されていて、見やすい図鑑になっている。

また、捕食されている虫の描写がとてもよくできていた。それぞれの虫の種類がよくわかり、そのそばに、虫の種類まできちんと記載されている。それで、鳥がどんな生き物を食べているかということ、ぱっと見てすぐ理解できる特徴があった。

また、色彩がとても豊かである。絵本のよさがあらわれているが、周りの余計な背景を入れなくて、鳥と食べられている虫、そういうところをクローズアップして、見やすい状況ができていたので、とても見やすい図鑑である。

そういう絵本を子供たちが日ごろ使うことによって、鳥に対して、広く自然に対する関心や興味が広がる、そういうことに対する興味・関心を持つきっかけにもなるので、子供の世界が広がることにつながっていくと考えた。

そして、鳥のことをよく知っていることで自信を持てれば、子供の自己肯定感が高まることにつながるであろうということも考えた。

ただ、さらに2つほど注文ということであるが、季節が秋・冬・春の順番になっていて、夏の場面というページ構成が抜けていた。一般的にバードウォッチングは、夏は鳥の声しか聞こえないので、ちょっと難しい状況にあるという判断からかもしれないが、

やはり夏は夏で、ページ構成を入れたほうがよかったということを感じた。

さらに、水の中で魚を捕食するページ、あるいは、水の中を泳ぐページもあるが、鳥のそばに泡がぶくぶくあるところで、ああ、水の中なのだということがわかるのだが、水中であることがややわかりにくいというところも感じられた。以上である。

次のページ、別紙2をごらんいただきたい。小学校特別支援学級調査委員会の審議経過等である。また、参考資料として、各校研究会の研究報告を、9ページ以降に添付している。お目通しいただければと思う。

以上で、小学校特別支援学級調査委員会の答申の説明を終わる。ありがとう。

委員長

ありがとう。

続いて、山谷中学校特別支援学級調査委員会会長から答申内容の説明をお願いする。

中学校特別支援学級調査委員会会長

旭丘中学校校長、山谷である。どうぞよろしくお願いします。

議案第39号に関する中学校特別支援学級教科用図書の調査研究について、説明させていただきます。

4月23日に、教育委員会から諮問を受けた平成25年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、中学校特別支援学級調査委員会は慎重に審議を重ね、7月23日に教育委員会宛て答申を提出した。以下、この答申について説明をさせていただきます。

資料2をごらんいただきたい。中学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級設置各校に設けられた研究会に対し、学校教育法附則第9条にかかわる図書の研究を依頼した。また、4月から3回会議を開催し、各校研究会からの報告書や東京都調査研究資料等を参考に、慎重に研究検討を行ってきた。

では、2ページを見てほしい。記書きの1である。調査研究を行った図書数であるが、各学校の意向を尊重し、58冊の図書を調査研究した。継続採択候補図書55冊、新規採択候補図書、3冊である。種目ごとの冊数及び図書名等の詳細については、6ページ以降に掲載したので、お目通しいただければと存ずる。

次に、記書きの2、調査研究における意見等である。図書の調査研究に当たっては、各研究校の意見を尊重するとともに、生徒にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて、新規採択候補図書について説明する。1番目の『合唱曲集 スーパーコーラス』、音楽、教育芸術社、調査研究内容、曲数が大変多く、歌いたい曲を選びやすい構成になっている。すべての曲の初めに歌詞があり、その次に、楽譜が書かれているので、リズムを覚えれば、歌詞だけを見て歌うことができる。昔から歌われている名曲を多数載せてある。文字が大きく、見やすいということである。インデックスがあり、目標の曲が選びやすくなっている。

続いて、の『クラス合唱 マイソング 4訂版』、音楽、教育芸術社、調査研究内容、曲の配置が、卒業式に合った歌等、場面に合わせた配列になっている。大変選びやすい構成になっている。合唱をつくる上での注意が、大きなイラストで、ユーモアのある表

現で説明されている。曲のエピソードが豊富に載っているのので、曲の情感が理解しやすく、感情を込めて合唱を歌うことができる。比較的新しい曲も載せられているので、親しみやすい合唱曲を選ぶことができる。曲の難易度が目次に書かれているので、選ぶときの参考になる。

3つ目、『混成合唱曲集 ニューコーラスフレンズ(5訂版)』、音楽、教育芸術社、調査研究内容、歌い方の基本が、中学生らしいイラストを使い、わかりやすく説明されている。合唱曲の難易度が、曲の配列になっているので、一目で自分たちの実力と歌いたい曲がわかる構成になっている。紙の厚さが適度で、めくりやすく、また、第3版と比較すると、全体の重さが軽くなっている。文字の配列が濃くて、見やすくなっている。どこかで聞いたことがある一般的な合唱曲や、新しく親しみのある合唱曲が多数載せられている。

以上、新規採択候補図書の調査研究結果について説明した。

次のページ、別紙2をごらんいただきたい。中学校特別支援学級調査委員会の審議経過等である。また、参考資料として、各校研究会の研究報告を、8ページ以降に添付している。お目通しいただければと存ずる。

以上で、中学校特別支援学級調査委員会の答申説明を終わらせていただく。以上である。

委員長

石井、山谷特別支援学級調査委員会会長、ありがとう。

それでは、ただいま説明があった答申内容について、各委員からご意見、ご質問をお聞きする。

天沼委員

まず、小学校の教科書について、一般図書についてであるが、これまで一覧表の理科のところ、岩崎書店の『絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん』が使用されていて、今回岩崎書店の『絵本図鑑シリーズ18 鳥の観察図鑑』ということで、今度は野菜から鳥についても採択されるということであるが、今のご説明で、これは子供たちにとっても大変使いやすいものであると感じた。

ただ、4月23日の教育委員会からの諮問の留意事項の2番に、可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つ図書が適切であること、また、特定の題材、もしくは一部の分野のみしか取り扱っていない図書、参考書的な図鑑類、問題集等は適切でないということで、実は終わりから2つ目の参考書的な図鑑類は適切でないという文言が、留意事項に含まれている。そうすると、これは図鑑類ということになってしまうので、この辺のところのご説明、このことについてのご説明をいただきたいと思う。

小学校特別支援学級調査委員会会長

理科に関しては、ごらんのように、それ以外にもいろいろ図書が既に採択されている。ただ、特別支援学級の実態を申し上げますと、子供たちが教科の内容を理解し、習得して

いく前に、それをサポートするものとして、図鑑というのは大変大きな役割を果たす。

参考書的な扱いということになるかもしれないが、理解の導入、それが教科書を使つての学習に必ずつながるものなので、子供たちの可能性、理解を好きになる子供たちを育てるためにも、図鑑というのは大きな役割を果たす。教科書として採択して、子供たちの手元に置いて、それをあわせて使っていくことには大きな意味があると考えている。以上である。

天沼委員

わかった。どうもありがとう。

中学校のほうであるが、今、大変丁寧な説明をいただき、ありがとう。中学校の図書は前にもいろいろ、一覧表の2ページ目の一番上が音楽の図書で、今回、上の3冊が新たに採用ということである。

ところが、各校の報告書を見ると、例えば、石神井中学校のところを見ると、『3訂版 歌はともだち』というのが入っている。それから、次のページの南が丘中学校の長谷川先生のところも、『3訂版 歌はともだち』と入っているが、この『歌はともだち』というのは、今回どのような扱いだったのか。

中学校特別支援学級調査委員会会長

これも合唱曲の本である。同じ教育芸術社が出していて、同じ会社の一連の合唱曲の本である。教育芸術社が出している本の中で、石神井中学校はこれがいいだろうということで何冊か選んでいる。

安藤委員

教科用図書一覧表の中に、音楽のそれが入っていないということ。

天沼委員

そうである。

安藤委員

もう一つ、『クラス合唱用 マイソング 3訂版』を使用している学校もあるのに、4訂しか出ていないというのは。

中学校特別支援学級調査委員会会長

3訂版が廃版になって、そのために4訂版になっている。

安藤委員

研究報告をしたのは4訂版を研究した。

中学校特別支援学級調査委員会会長

はい。

安藤委員

一番最初のページの教科用図書一覧表の音楽の項目に、『歌はともだち』というのが入っていないにもかかわらず、報告書には入っているということを多分天沼委員はおっしゃりたいのだと思うが、私も同じことを、3訂版で思ったということだが、それはただ書き漏れてしまったということか。

教育指導課長

今、確認してみるが、表の中に『歌はともだち』が漏れている可能性があるので、至急確認する。

委員長

よろしく願います。

内藤委員

質問もあわせてだが、今のお話の中で、各校の研究会の報告を尊重するという事なので、各校から希望があったものについては、調査委員会では全部候補として挙げていらっしゃるのかどうか、私が両方のチェックをしていたところ、教科で特別支援学級が授業を進められているという総合的な扱いをされているから、やむを得ないかとは思ったが、例えば、光が丘第八小学校の生活科のところにとたくさん図書が並んでいて、生活科はこういうものがほとんどないので、あれと思った。

そうすると、今の野菜の図鑑とか、鳥の図鑑というのは、一覧表では全部理科のほうに振りかえていた。こうやっていくと、ああ、光が丘第八小学校の希望したのもすべて理科から生活科と分けて採用されているのだ、候補に挙がっているのだということが納得できた。

そこをお願いだが、見るときに、そのように学校の研究報告書と調査委員会での教科の仕分けが違くと、確認するときちょっとわかりづらかったので、教科という意識が、先のほうでつながることだと思うが、なるべく同じような方向で、各校の研究報告書も書いていただけると、私たちが見るときに、大変わかりやすいという印象を今回ちょっと持ったので、それはぜひ次回お願いできたらと思った。

最初の質問は、各校の報告書に挙げられているものは、候補として挙げている、すべて挙がっていると解釈しているのか、117冊はちょっと数え切れなかったのだ。

小学校特別支援学級調査委員会会長

そのとおりである。各校それぞれ子供の実態が違う。特に特別支援学級にあっては、子供一人一人の課題があるので、一律に、何年生だからどうという仕方、同じく学校間でも子供たちの構成によって、この教材が適切である、この教科書が適切であるということは各校ごとに慎重に検討していただいているので、そこは尊重させていただいた。

内藤委員

わかった。それともう一つ、表記上のことであるが、これは細かいことだと思うが、開進第二小学校の発行者というところに、代表者の個人名が書かれている。ほかのところは出版社の名称なのに、ここが名前なので、ちょっと読みにくいと思ったので、そろえていただくといいかと思った。

委員長

ただいまの点はよろしく願います。

教育指導課長

先ほどの石神井中学校から挙がっていた『3訂版 歌はともだち』であるが、今、確認したら、供給不能、もう既に絶版というか、購入できない状況になっている本ということで、石神井中学校のものはこちらには挙げていないということである。

天沼委員

わかった。ありがとう。

委員長

ありがとう。

ただいま内藤委員が、小学校の開進第二小学校の発行者のところのご意見を言っていたが、指導課でも、発行者は編集責任者の名前ではなく、他校と同じように、発行者だということを、一言ご指導をよろしく願います。

それでは、各委員からのご質問も終了したので、石井会長と山谷会長には退出していただきたいと思う。今回この調査に当たって、学校の皆様には、新年度がスタートして、学校として多くのことに取り組み、対応する日々の中で、この調査委員会を設置し、調査研究をしていただいた。支援を要する児童・生徒一人一人の状況、先ほども2人の会長がおっしゃっておられたが、児童・生徒の状況をかんがみて検討した結果、このようにまとめてくださったこと、深く感謝する。大変ありがとう。また、皆様にどうぞよろしくお伝えいただきたい。ありがとう。

石井小学校特別支援学級調査委員会会長、

山谷中学校特別支援学級調査委員会会長退席

それでは、これからは教育委員会としての審議に入るので、各委員においては、机上に配付されている見本本を点検してほしいと思う。その後採択していく。よろしく願います。

見本本の点検